

長尾福祉会報

令和元年10月1日

第40号



元気いっぱい
長尾学舎のこども達

—長尾福祉会理念—

障害をもっていても もっていなくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

ご挨拶

認定こども園長尾学舎も開園して半年が経ちました。この半年間は子どもたちと共に成長する日々でしたが何とか土台が築けてきたように思います。併設する子育て支援センターでも多くの方にご利用いただき、最近の子育ての現状などについて、楽しみながら情報交換をされているようです。これからも園をあげて地域の子育て支援に力を入れて参ります。

さて、長い間議論されていた消費税増税がこの10月から行われることとなります。今後の少子高齢化による社会保障費の財源として広く国民全体で負担するという目的です。私ども長尾福祉会では日々の運営関係費で多くの消費税を支払う側であり、この消費税による無償化の対象である保育園・こども園を運営する立場でもありますので、しっかりとこの先を見ていきたいと思っております。

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。



どんぐりランドに行ってきましたよ！ 〜かぜぐみデイキャンプ〜

主任保育士 津崎 なお

8月2日(金)、5歳児かぜぐみ5名と保育士4名でどんぐりランド(高松市西植田町)にてデイキャンプを行いました。虫や生き物、身の回りの事からに興味があふれているかぜぐみの子どもたちにとって、森歩きや草原での時間はそこにいるだけで発見の連続です。暑さにも負けず、時間が足りないほど体を使って遊びました。お昼には子どもたちのリクエストのバーベキュー。午後はクラフトワークで木の枝を使ってキーホルダーも作りました(これは子どもたちと同じくらい私たちも熱中しました)。

子どもにとって、自分の目で見て触れることは何ものにも代え難い貴重な経験です。デイキャンプの活動が一人ひとりの心の奥に、楽しい記憶として残っていることを願っています。そして、日々の生活の中でも、実体験する機会をたくさんつくっていきたく思います。

高松 くりの木 保育園

リトミック教室

毎月2回、2歳児から5歳児の子どもを対象にリトミック教室が開かれています。

ピアノの音に合わせて走ったり、体でピアノの音に合わせて表現をしたり、道具を使ってリズム遊かなど様々なことをしています。ホールでたくさんの子どもたちが、楽しそうにリトミック教室に参加しています。



保育士 林原 紗綾

英語教室



副主任保育士 山口あけみ

毎月1回、3・4・5歳児は英語教室があります。外部より講師先生が来園し、身近なものの英単語から始まります。時には曲に合わせて踊ったり、絵カードを使って英語で会話したりと自然に英語に触れることが出来て、毎月とても楽しみに参加しています。



保育参加

副主任保育士 貞中 浩美

年に2回行っている保育参加。5月28〜30日の3日間、保護者の方に来ていただき、制作活動やリトミック教室など子どもたちと一緒に参加してもらいました。園生活に少しずつ慣れてきた様子を見ていただくことができ、有意義な時間を過ごしました。これからも園での取り組みや子ども達の成長を伝えていこうと思います。



食育の取り組み

管理栄養士 太田麻里子

「今日の給食は何か？」とガラス張りの給食室の様子を興味津々で覗き込む子どもたちは、展示している野菜の名前をたくさん口ずさんでいます。

開園2年目に入りました。園では多くの食材を知って、味わってもらえるような給食作りを心がけています。また、夏野菜のお世話や収穫、野菜の皮むきのお手伝いや豆こはん作りなどのクッキング、園外では筍掘りや田植え、稲刈りなど「食」に関わる楽しい体験も大切にしています。



敬老会

介護職員

頼富 涼代



秋晴れに恵まれた心地良い日にご利用者の長寿を祝う敬老会を開催致しました。当日の昼食は、色鮮やかな押し寿司、茶碗蒸しなど祝い膳を目や舌で味わいました。さぬき市マスコットキャラクター「さつき」にプレゼンターをお願いし、節目の方には番付表に基づき施設長より色紙贈呈、記念撮影など行いました。

ご家族様と一緒に和菓子や飲み物も召し上がり、ご利用者も普段以上の笑顔が見られました。



食事交流会

主任 管理栄養士

河井 以知理

家族と過ごす穏やかな時間は、ご利用者にとってかけがえのないものです。ゆたか荘では年に1度食事交流会を行っております。他愛もない会話をしながら顔を合わせて食事をする笑顔が自然とあふれ、箸も進みます。また、ムース食の試食も用意し、ゆたか荘でのお食事の様子を知っていただくいい機会が持てました。



皆さまの願いが叶いますように…

介護職員

宮本 まゆみ

7月5日に七夕まつりを行いました。昼食に見た目も涼やかな5色そうめんを頂き、午後からは短冊にそれぞれの願い事を書いて、皆さんで笹飾りを楽しみました。職員も童心に帰って会話も弾むひと時を過ごしました。



納涼夏祭り

介護主任 木村 寿志

8月4日に、ゆたか荘納涼夏祭りを盛大に開催いたしました。利用者様には事前に飾りつけの作品作りを手伝って頂き、納涼祭りを楽しみにされている様子でした。当日はたくさんの家族様やボランティアの方も来荘され、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

ステージでは、「ナチュラル トーン」様による迫力のある演奏や寸劇で会場を盛り上げてくださいました。その後「みきスタース」様によるフラダンスが行われ、あまり見る機会がない利用者様は前の席まで移動し、笑顔で楽しまれていました。最後は「讃岐舞人」によるよさこい踊りの演舞でした。大人数での息の合った踊りで、とても迫力があり、職員や利用者様も一緒に踊り、いつもと違った利用者様の表情を垣間見る事ができました。

バザーやガラポン抽選会も盛り上がり、参加された家族様にも楽しんで頂けました。これからも地域の方々や家族様との交流を大切にし、利用者様に楽しんでいただけるようなイベントや行事を企画していきたいと思っております。



のぞみをかなえよう

主任 介護支援専門員 矢武 忠明

ゆたか荘では、年1回ご利用者お一人お一人に、担当職員が行きたいところや食べたいもの等希望を伺い、個別に支援させていただいています。三越へ買い物、回転寿司やうどん、お寺参り等ご希望は様々ですが、施設入所となっても楽しみや、希望を持って生活していただけるようお手伝いできればと思っております。



こいのぼりを楽しむ会

介護副主任

高木 優子

5月5日に毎年恒例の、「こいのぼりを楽しむ会」を開催いたしました。今年も地域の方々より頂いた色とりどりの鯉のぼりが優雅に泳いでいました。また館内には長尾小学校4、5、6年生とご利用者に将来の夢をかいていただき、鯉のぼりの壁画として飾りました。

ステージでは、祝宴として、「コッソ・ナラス」様の吹奏楽の演奏、「さぬき民族芸能保存会」様の華やかな演舞。またホールでは、たい焼き、ポップコーン、ジュースの無料バザー、生活支援センターのぞみのパンの販売、来荘者にはのぞみクッキーのプレゼントをしました。ご家族、ボランティア、地域の皆様の協力があり、ご利用者の素敵な笑顔が溢れる楽しい行事となりました。



職員紹介

お一人お一人に
寄り添える
施設づくりを目指して

副施設長 高村えりこ

ゆたか荘開荘時より入職し、特別養護老人ホーム、デイサービスゆたか、ケアプランセンターゆたかを経験し、今年3月より副施設長としてゆたか荘に携わらせていただく事となりました。平成12年、新卒で就職し右も左も分からない中、上司や仲間にも助けられ多くの経験をさせていただきました。

ゆたか荘で勤めていた頃には施設で生活されている方への支援を行う事で介護技術を学び、デイサービスセンターゆたかでは在宅で継続した生活が送れるよう心身機能の維持、向上が図れるよう支援に努めて参りました。また、ケアプランセンターゆたかではご本人様だけでなくご家族様へも寄り添い、家庭、地域等ご本人様を取り巻く状況を把握し総体的に支援を計画し、他職種と連携を図りながら生活の維持向上を図って参りました。

そういった多くの経験を活かし、今後施設の中でもご本人、ご家族様に寄り添いその方らしく穏やかな生活ができるよう、「ゆたか荘を選んで、ゆたか荘で過ごせて良かった」と思っていただけのような施設作りに努めて参りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。



デイサービスセンターゆたか

これからも、いつまでも……

介護職員 三木 嘉明

デイサービスでは、年度ごとに利用者の皆様に対してお誕生日プレゼントをご用意しております。

毎年お気持ち程度の物ではありますが、誕生日に近いご利用日に、当日ご利用の皆様とお祝いすることを開所当初より恒例として実施しております。

今年は、『似顔絵色紙』。まだ、年度途中ではありますが、いただいた方からは、「自分のイラストを見て照れ笑い。また、これから誕生日を迎える方からもリクエストが……」

「シワの数、減らしてよ。」皆さん、まだまだお口も元気、身体もお元気な様子が伺えます。長くご利用頂いている方で、十三年目になる方からも、「ここができた時から来よる。」等、最長者としての自負ある言動もいただけ、ますます利用記録更新をしてみたいものです。

今後についても皆様との過ごす時間を職員一同、大切にしていきたいと思っております。双方が自然体で心地よい空間が創れるよう職務に当たりたいと思います。



高齢者複合施設 ハーティヴィラ亀鶴



いらっしゃいませ

ウェルカム喫茶



おはようございます



広いお風呂
気持ちいいですよ

入浴



ハーティヴィラ亀鶴 デイサービスセンター の1日をご紹介します!!

ありがとうございました



待ち時間には
頭の体操を♪



知能レク

リハビリ



職員の
声かけに合わせて



口腔体操

ひと休み
したあとは...



レクリエーション

帰りの
ごあいさつ



季節にちなんだ
クイズが出るときも。



ランチタイム

土用の丑の日
ではうなぎ寿司



手作りおやつ



おやつタイム

その他、季節に合わせたお花見ドライブ
やお買い物など外出レクもあります

のぞみ園

春の遠足

男子寮

生活支援員 木村 佳央

7月2日に男子寮で、まさご屋へ「流しそうめん」を食べに行つて来ました。皆さん流しそうめん初体験であった為、麺をすくうのに苦戦されていきました。しかし時間が経つと慣れてきて、楽しんでいくすく、「美味しい」と喜んで召し上がっていました。そうめん以外でも、プチトマト・うずらの水煮・ゼリーも流し楽しく食事をを行うことができました。最後は「もう食べられない」とお腹も満足された様子で、思い出に残る遠足となりました。



南寮

生活支援員 立石 本子

5月30日(木)は、朝から天候に恵まれ、保護者さんも多数ご参加頂き、春の遠足に行つて来ました。行き先は塩江のふじかわ牧場で、初めてのピザ焼き体験をし、焼きたてのピザとしばらくたての牛乳、そして牧場のソフトクリームを頂きました。とても美味しかったです。ピザ作りは、生地を伸ばし、トッピング・窯での焼き・仕上げトッピングの工程があり、牧場の方々が丁寧に教えて下さり、皆上手に焼けたようでした。また、牛や馬や羊などの動物たちと触れ合う、楽しい時間を過ごすことができました。



女子寮

生活支援員 児玉 麻莉

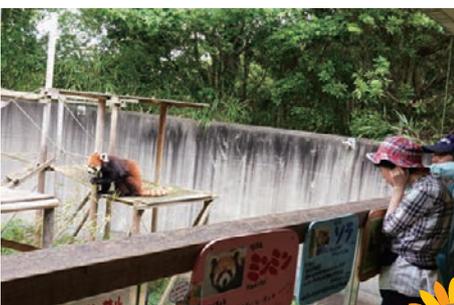
6月18日、久しぶりに遠方へ遠足に行きました。昼食は「魚や」という新鮮なお魚が食べられる、お店で刺し身や天ぷらを食べました。みなさんべろりと完食。続いて「とくしま動物園」では普段見ることのできない動物を見て笑ったり、少し怖がったりと、皆さん違った反応が見られました。一番人気はお土産屋さん。お菓子やぬいぐるみを買って大満足。保護者様にも参加して頂き、とても楽しい一日となりました。ありがとうございました。



通所・就労

生活支援員 原由紀子

5月22日(水)、春の遠足で徳島県へ行きました。大塚食品徳島工場では、飲料の製造工程を見学。テレビCMなどでおなじみの飲料の製造で、みなさん興味をもって見ていました。THE NARUTO B A S Eでは、洋食のランチを食べ、その後阿波十郎兵衛屋敷に行きました。ここでは、人形浄瑠璃の上演を見ました。人形浄瑠璃を初めて見られるという方が多く、語りと三味線に耳を傾け、人形の動きに見入る姿が印象的でした。



お花見

生活支援員 木村 佳央

陽春の季節を迎え、のぞみ園では心待ちにしていた花見を4月2日に行ないました。前日は雨天で少し心配していましたが、当日は晴天でした。少し肌寒かったのですが、美味しい花見弁当(今年は中華風)を食べる頃には暖かくなっていました。桜坂を歩きながら、これから咲こうとしている平成最後の桜花を眺めていました。



スポーツレクリエーション大会

生活支援員 土居 侑花

6月11日、ツインパルなおにてスポーツレクリエーション大会が行われました。玉入れ・綱引きなど白熱した試合が続きました。パン食い競争では、みなさんパンに向かって全力で駆け寄り、一生懸命パンを取っていました。最後のリレーでは選手だけでなく、応援する人たちも大変力が入っており、大盛り上がりでした。楽しく体を動かす事ができ、大満足のスポーツレクとなりました。



フライングディスク大会

生活支援員 大風 誠司

6月7日に飯山総合運動公園体育館でフライングディスク大会が行われました。今年は全ての競技が体育館の中で行われ、涼しい中参加された利用者さんは、リラックスして競技に取り組まれていました。残念ながら競技では、入賞する事は出来なかつたですが、利用者さんからは「楽しかった」「お弁当が美味しかった」という感想が聞かれ、充実した時間を過ごす事ができました。



表現活動、大好き!

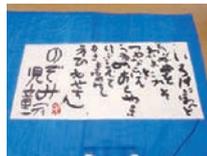
保育士 西 詩織

のぞみ 児童デイサービス事業所

のぞみ児童デイサービス事業所では、開所以来、書写、お絵描き、工作等の表現活動を続けてきています。

個々の作品であったり、皆で取り組んだ共同作品であったりと、様々なものを工夫しています。主に土曜の開所日や、長期の休みに時間をかけて製作していますが、放課後利用の日にも、行事にちなんだ書画や創作の機会を織り込みながら、季節感もしっかり味わっています。

活動を継続することで、筆やはさみを使うことが楽しくなったり、皆の力を合わせて一つの作品を作り上げることもおもしろさを感じたりしながら、内面の豊かさも育っているようです。



子ども達と交わって

あらくさ会笑いヨガクラブ

白井 智子
阿部進一郎

はじめてのときは、ドキドキしながらの訪問。でも、何の心配もなく、笑顔と、すんだ瞳で大歓迎してくれました。「たくさん息を吸ってー。」と言うと、肩を上げて鼻の穴が丸くなるほどに吸っている。

「一緒に笑うよ。」と言うと、大きな口を開けて、ハハハハ、ハハハハ。「次は、一緒に立って飛び込むよー。」と言うと、いっせいに、すもくり姿勢に。

また来てね、また来てよ!と皆が笑顔一杯。

訪問した私達が、とてもいやされて、心が柔らかく、軽く天使の羽が広がるひと時でした。



